

L'ORÉAL

仏・ロレアルと VERILY 社 美容業界で初めて戦略的パートナーシップを発表 プレジジョン・スキン・ヘルスを推進

フランス現地時間1月20日、世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）と Alphabet 社傘下のプレジジョン・ヘルス企業である Verily 社は、スキン・ヘルスの推進のため、美容分野のみに特化した戦略的パートナーシップの締結を発表しました。美容業界で初となる本提携には、皮膚と髪の老化メカニズムをより深く理解し、特徴づけ、そしてロレアルのプレジジョン・ビューティテック戦略と製品開発に反映させることを目的とした2つのプログラムが含まれる予定です。

1つ目のプロジェクトは、肌の健康を生物学的、臨床的、環境的に縦断的に捉えるための戦略的なコラボレーション研究です。ロレアルの皮膚に関する深い科学的知識と Verily 社の包括的な臨床科学能力を組み合わせ、エクスポソームと皮膚老化、そして肌に関する深い生物学との関連を解読・発見することを目的としています。

2つ目のプロジェクトは、Verily 社の R&D チームとロレアルのアクティブ コスメティックス事業部との提携です。臨床皮膚医学やスキンケア向けのセンサーや AI アルゴリズムなど、新しいサービスの基盤となる新技術や遠隔診断ソリューションの開発を検討することを目的としています。

「プレジジョン・ヘルス・テックの世界的リーダーである Verily 社と提携できることを嬉しく思っています。ロレアルは、100年にわたり、先駆的にイノベーションの開拓を行ってきました。なぜならロレアルは、科学、処方、そしてロレアル独自の先端研究力の融合が、革命的な科学的発見を見出し美の未来を創造する、と信じているからです。このパートナーシップにより、私たちはテクノロジーとサイエンスを通じて、スキン・ヘルスの新しい時代をリードし、世界中のすべての人が人生の各ステージにおいて、最も包括的で、パーソナライズされた、パワフルかつ正確なスキンケア・プログラムを利用できるようにしたいと考えています」と、ロレアルグループ最高経営責任者（CEO）であるニコラ・イエロニムスは述べました。

「Verily と ロレアル は、プレジジョン・ビューティーとヘルスを実現するテクノロジーの変革力を信じています。私たちは、化粧品科学の世界的なリーダーと提携し、スキン・ヘルスをよりよく理解し、推進することができることを嬉しく思っています」と Verily 社の社長兼 COO である ステファン・ジレットはコメントしています。

「スキン・ヘルスは、日常生活における身体的な影響だけでなく健康そのものにとって必要なものである、と私たちは認識しています。Verily のテクノロジーと臨床科学の能力、そしてロレアルの美容業界をリードする情報力と皮膚科ネットワークを活かし、データに基づく適切な処置方法を特定しうる可能性を、わたしたちの共同アプローチは持っています。」と Verily 社共同創業者でありフェローであるブライアン・オーティスは述べています。

「ロレアルと Verily の新しいパートナーシップは、皮膚科医と消費者に革新を約束するものです。両社の戦略的コラボレーション研究の結果、肌についてより多くのことを知ることができると楽しみにしています。新しいアルゴリズムとツールにより、消費者がより個人に最適化された情報にアクセスでき、効果的なスキンケアを行うことができるようになることを期待しています」と、テレダーマトロジー（遠隔臨床皮膚医学）学会会長のアマンダ・オークリー博士は述べています。

ロレアルについて <https://www.loreal.com/en/>

ロレアルは、100年以上にわたって美に専念してきました。35の多様で補完的なブランドからなる独自の国際的なポートフォリオにより、グループは2020年に279億9000万ユーロの売上高を達成し、世界中で85,400人の従業員を雇用しています。世界有数のビューティーカンパニーであるロレアルは、マス市場、百貨店、調剤薬局・ドラッグストア、ヘアサロン、トラベルリテール、ブランドリテール、Eコマースなど、あらゆる流通ネットワークに展開しています。研究とイノベーション、そして4,000人の研究専任チームは、ロレアルの戦略の中核であり、世界中の美への熱望を叶えるために活動しています。ロレアルは、2030年に向けてグループ全体で意欲的な持続可能な開発目標を掲げ、より包括的でサステナブルな社会に向けてエコシステムを強化することを目指しています。

日本ロレアルについて <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2020年末時点での社員数は、2,491人、2021年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。1983年に日本に研究開発拠点を置き、現在、日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター（川崎市・溝の口）として、日本をはじめ、アジアの研究開発の中心的な役割を担っています。200名以上の研究者を有し、うち女性研究者は56%を占めています。